

長野県 公連協だより

第 149 号

発行所
長野県公民館運営協議会
長野市若里 1-1-4
県立長野図書館内
電話 (026) 217-6256
FAX (026) 217-7015

第六十九回長野県公民館大会

コロナ禍での公民館大会

実行委員長 前大北公民館運営協議会長

前大町市大町公民館長 平 林 晃



第六十九

だき、準備を進めてきたところで
すが、日増しに新型コロナウイルス感染症の感染状況が悪くなり、
当初、二日間で開催する日程が、一日開催となり、最終的には全県
でレベル 5 「特別警報 II 」となったことから、会場を大町市文化会
館大ホールから大町市情報センター
へと移し、内容も開会式に続き、国立天文台天文情報センターの縣
秀彦先生より、「長野県発 宇宙
の旅 ～つながっている宇宙・社会・いのち～へと移し、内容も開会式に続き、
国立天文台天文情報センターの縣
秀彦先生より、「長野県発 宇宙
の旅 ～つながっている宇宙・社
会・いのち～」と題し、ご講演をいただき、最後に閉会式と大幅に
縮小しての開催となりました。また、閉会式では、公民館の役割を捉え直
し、住民にとってより必要とされる公
民館活動を開いていくための実践内容

全国及び関東甲信越静 研究大会報告

第四十三回全国公民館研究集会

第六十一回関東甲信越静公民館研
究大会山梨大会は、「公民館がつ
なげる地域の人・もの・こと & M
IRAI 」しなやかな公民館活動

をめざして」をテーマに開催の予定でしたが、コロナ禍により昨

年度と同様に映像と大会記録集に
よる開催に変更し、全体会は十月

二十九日より全公連 Y o u T u b

た、閉会式では、公民館の役割を捉え直し、住民にとってより必要とされる公民館活動を開いていくための実践内容を確認し大会の宣言がなされました。

なお、研修会の講師を引き受けさせていただいた劇団四季浅利

かわら版「第60回長野県公民館大会
長野県発 宇宙の旅
～つながっている宇宙・社会・いのち～」
2021年9月16日
県 秀彦 (あがたひでひこ)
国立天文台



慶太記念館の浅野貢一館長、アトラクションに出演予定だった信濃国松川響岳太鼓の皆さん、分科会を企画していただいた各公民館の皆さんなど、準備などにご苦労いただきました皆さんには、お手数をお掛けし、申し訳ございませんでした。

最後に、今回の大会の開催にあたり、ご協力いただきましたすべての皆さんに心より感謝申し上げるとともに、来年こそは、上田の地で、公民館の本来の形である皆が集っての開催となることを心よりご祈念申し上げます。

e チャンネルで基調講演・山梨県事例発表が映像公開されました。

分科会は各都県の事例発表と助言者のコメントを掲載した「大会記録集」を来年二月頃発行することになりますが、当県からは第三

分科会「防災と危機管理」に松本市芳川公民館の柏澤由紀一館長が

「地域防災 up への取組み」について事例発表します。このなかで

柏澤館長は、過去の災害事例を踏まえ、防災訓練の継続と災害の記憶を風化させない努力そして最新

文化会館に皆さんにお集まりいた
だき、盛大に県公民館大会を開催
したい。」とお話しをさせていた

全国公民館連合会 功労者表彰を受賞して



伊那市伊那公民館
館長 細江孝明

今年はコロナ禍によ

り山梨県で
予定されて
いた関東甲

信越静公民

館研究大会が集う形で開催ができ
なかつたため、去る十二月八日、
県公運協事務局において県公運協
会長柏澤様よりご丁寧に賞状授与
をしていただきました。誠にあり

がとうございました。この表彰は、
私が特別なことを行ってきたわけ
ではなく、県の役員として皆様と
共に務めさせていただいたことが
このような形になつたものと思つ
ています。ですので、あくまでも
県公運協の推薦をしていただいた
皆様と、共に活動してくださつた
方々への表彰であると思つております。

公民館長になつたばかりの平成
二十五年、上伊那で県大会を開催
した時の事務局での仕事が今でも

忘れることができません。それは、
県大会が上公連の皆の力で一致団
結して取り組めたからです。準備
過程では様々な困難はありました
が、皆の力でやり遂げた充実感を、
取り組んだ者全てが感じ取れたこ
とに価値があつたものと思ってい
ます。

県公運協の事業の多くは各地域
を輪番制で回っています。それだ
けにその地域の特色や考え方を生か



須坂市高甫地域公民館
館長 竹前儀和

「第三回公民館職員支援 オンライン講座」

第三回公
民館職員支
援オンライン
講座に参
加し、多く

の皆様とZ

oomで繋がり学習することが出
来ました。自分の以前と現状を対
比しながら聴講いたしました。

今回の講座「コロナ禍での公民
館の役割、住民の求める公民館と
は?」について、三名の館長様か

らは、話題提供として現状の公民
館が抱えている問題点の事例と、
それらを解決すべく実践的なお話
を聞き、改めて「目から鱗」です。
それは、自身の立ち位置を変える
事により「違つた見方が出来る、
新たな課題が見える」、行事への
住民参画意識については「企画が
参加者主導でなく、事務局一辺
倒、公民館は黒子で在るべき、
参加者拡充と運

改めて「コロナ禍に紛れ、考えず
に問題をすり替えていた」ことに
気付きました。これからは、地域
と連携を深め学習の場所づくりに
努めてまいります。三館長様、あ
りがとうございました。

当館の取組事例は、情報の見え
る化（二次元コード添付）、コロ
ナ禍での事業展開（開催の目的・
意義・感染症対応策・時期・時間・
会場～場所～・参加～集散移動～
方法）など参加しやすい対応での
発信をしています。また、リモー
ト講座を二回開催し、毎朝須坂市
10館でのZoom会議に出席して
います。終わりに、今回のテーマ
講座を開催していただき感謝いた
します。



ブロックニュース

北信

激務でも…

栄村公民館

主事 島崎佳美

これまで、栄村公民館の主事は生涯学習係との兼務で配置されており、生涯学習係は正規三名、会計年度職員一名体制でしたが、令和三年度より、生涯学習係の人員が一名削減され、正規職員二名、会計年度職員二名となりました。人數に変わりはありませんが、生涯学習係長が公民館主事を兼務するようになり、激務の日々を送っています。

私は昨年から、長野県生涯学習推進センターが主催する「地域づくり支えて入門講座」に参加しており、さまざまな地域で活躍されている方の取組や人ととの関わりあいに触れながら、社会教育の本質を学ばせていただいています。この学びを通して、自分の中に芽生えた①行政職員は住民と共に歩む協働であること、②住民の抱いている思いに耳を傾けること、③

自分自身が、思いを抱いている方が声を発しやすい場所や人になっているか、の三点を胸に、住民と対話し、関わり合うことを大切にしています。

自分自身の働き方改革を導入したことにより、自分自身の視点が変わったのかもしれません。住民のやりたいことや気づきに対し、「どのようにつなげ、サポートすることができるか」を考えられるようになつた気がしています。令和三年度は、子どもたちに安全安心な給食を届けたいと考えている皆さんや、小さいころから性について親子で考える大きさを発信したい皆さんと共に講演会を開催することができました。激務ゆえに「住民の背中しか押せない状態」と言われてしまえばそれまでなのですが、思いを持った住民の引力とマンパワーの強さに感銘を受けながら、サポートをする面白さを見出しつつあります。

働き方改革の導入によって、さらには効率化を求められる世の中となりそうですが、敷かれたレールの上ではなく、住民と対話することを大切に、共に考え、共に作りだしていくことを真ん中に据えた、

リレーコラム

「長野県らしい
公民館とは?」
⑯

最新技術に触れる

南牧村公民館

前館長 田川今朝夫

昭和三十

年代のこと

です。小学

生のとき柱

時計のメン

テナンスを



見ました。時計屋さんが各家を回りその場で修理や調整をしました。

主事 唐澤洋子
茅野市ちの地区公民館

弥生時代の遺跡を見学しよう

ここに生きる

「長野県は教育県である」と言われてきましたが、子供の頃の勉強や経験などが、その後の人生に大きな影響をあたえると思います。

セグエイの試乗会を考えました。「危険」として却下されました。

ドローンの操縦体験も同様と思いました。公民館役員の皆さん、なにか有りませんか?

その影響で高校の機械科を出て、骨材プラントのメーカーで設計の仕事をしました。その後、券売機メーカーでマイクロコンピュータと出会い、プログラムを約三十年間つくり続けました。春から秋は家庭菜園、冬はピタゴラ装置やら電子サイコロ・オルゴールなどを作っては孫たちと遊んでいます。

ちの地区公民館・ちの地区ミニティ運営協議会では、ちの地区公民館に隣接する中学校の建替えに伴い、遺跡の発掘調査が行われていることから、地域住民を対象とした見学会を企画しました。新型コロナウイルスの感染警戒レベルも下がり、参加者を募ったところ、約二百人の見学希望があり、予想以上の反響に驚きました。

しかし、大変残念なことに、当日は雨が降り、現地で学芸員と状況を確認し、最終的に安全と遺跡保護の観点から中止を決定しました。中止とはなりましたが、地元の方々の関心の高さを改めて感じた次第です。

遺跡からは、約千七百年前の弥生時代後期の竪穴住居跡が複数検出され、発掘現場を中心に広範囲な遺跡であることが、確認されています。

遺跡発掘の埋め戻し作業にも工期間がありますが、ぜひ、目で見て感じられるリベンジの機会がある

ことを願っています。
この遺跡のある塚原は、弥生時代から現在に至るまで、人々の暮らしの舞台となり、地名の如く古墳（塚）が多く残されていたと伝えられています。弥生時代にタイムスリップしてみたりました。

懐かしい風 新しい風

生坂村教育委員会 社会教育係
主事 藤澤雄斗



私が勤めている生坂村は、私自身が生まれ育った村であります。

村内にある保育園、小学校、中学校と通り、卒業後は松本の高校へ進学。ただし通学は生坂村からでした。

私が生坂村を長く離れたのは、東京の大学に通っていた四年間ぐらいのものです。しかし今、生坂村公民館主事として地元に密着してみると、そこには当時窺い知ることの出来なかつた様々な生坂村の顔がありました。

公共施設を活用して自身の持つスキルを活かした活動をする方々、また公民館教室の講師としてその腕を振るってくださる方々、あの頃は参加者の一人として楽しむだけであった村を挙げての一大行事「赤とんぼフェスティバル」その開催に尽力また協力してくださる方々などなど。そのそれぞれが、この生坂で生きていくということの表れなのだと感じました。

東京から戻り、学生から社会人となつて感じるのは、懐かしくも新しい刺激。これからは生坂村を盛り立てる一員として、力をなくしていきたいです。

県教委より

公民館活動アワード

令和三年度「公民館活動アワード」の実施要領を各公民館に通知しました。昨年度は、次の五つの団体（公民館）の活動が表彰されました。

多くの皆様の参加をお待ちしています。
(文化財・生涯学習課
主任指導主事 後藤卓己)

【旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクト「旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクト活動」】



(日本語教室を通じた外国人と地域住民との交流、外国人児童生徒のキャリア支援活動)】
【入山辺地区の将来ビジョンを考える会「住んでみたい・訪れてみたい入山辺を目指す住民主体の地域づくり】

【小滝区「三〇〇年後に小滝を引き継ぐ】

【二木地区公民館「りんご狩り（総採り）でつながろう！」】

どれも地域づくりにつながる大変優れた取組でした。安曇野市の自治公民館である二木地区公民館が受賞されたのは、県内公民館活動の裾野の広さを感じます。

今年度の「表彰式・フォーラム」は、二月二十六日（土）に長野県生涯学習推進センターにて開催する予定です。

